

社会資本総合整備計画（市街地整備） 事後評価書(中間評価書)

平成30年3月31日

計画の名称		15 新幹線駅へのアクセスを向上させる街路の整備																			
計画の期間		平成28年度～平成31年度（4年間）				交付対象		佐賀県、武雄市													
計画の目標		新幹線開業を見据え、新幹線駅及び在来線へのアクセス道路等の整備を行い、交通結節点としての利便性の向上を図る。																			
計画の成果目標（定量的指標）		<ul style="list-style-type: none"> 武雄市における駅と主要観光施設間の平均所要時間7.5分（H28）を10%短縮させる。 武雄温泉駅周辺の車両通行量及び歩行者通行量を100台・人増加させる。 																			
定量的指標の定義及び算定式								定量的指標の現況値及び目標値			備考										
		当初現況値 (H28当初)		中間目標値 (H29末)		最終目標値 (H31末)															
① 現地走行調査により、武雄温泉駅から各施設への所要時間を計測する。 (算出方法) 各地点から駅北口・南口への到達時間を計測し、平均所要時間を算出する。(所要時間(総計)÷経路(往復)=平均所要時間)		0% (7.5分)		5% (7.1分)		10% (6.75分)															
② 現地調査により、平日と休日（各1日、12時間）の車両通行台数及び通行人数を計測する。 (算出方法) 計測地点（駅北口・南口）の12時間通行台数・人数を計測し、平日・休日（2日間）の合計台数・人数を算出する。 (平日の通過台数・人数(計)+休日の通過台数・人数(計)=合計通行台数・人数)		27,700台・人		27,750台・人		27,800台人															
全体事業費		合計 (A+B+C)		1,782 百万円		A		1,782 百万円		B		0 百万円		C		0 百万円		効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)		0.0%	
中 間 評 価																					
○中間評価の実施体制、実施時期																					
中間評価の実施体制										事後評価の実施時期											
										平成31年度											
事業策定主体（武雄市都市計画課）にて評価を実施										公表の方法											
										武雄市HPにおいて公表											
1. 交付対象事業の進捗状況																					
交付対象事業																					
A1 基幹事業																					
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)		事業内容 (延長・面積等)		市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考				
											H28	H29	H30	H31	H32						
15-A-1	街路	一般	佐賀県	直接	-	(都) 甘久武雄線		現道拡幅 L=0.3km		武雄市						114.0					
15-A-2	街路	一般	武雄市	直接	-	(都) 永松川原線(駅南工区)		現道拡幅 L=0.2km		武雄市						412.0					
15-A-3	街路	一般	武雄市	直接	-	(都) 天神崎白岩線		現道拡幅 L=0.1km		武雄市						873.4					
15-A-4	区画	一般	武雄市	直接	-	(区) 武雄北部地区		区画整理 A=9.0ha		武雄市						382.1					
合計																1,782					
B 関連社会資本整備事業																					
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名		事業内容 (延長・面積等)		市町村名 地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考			
												H27	H28	H29	H30	H31					
合計																					
番号	一体的に実施することにより期待される効果																	備考			
C 効果促進事業																					
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名		事業内容		市町村名 地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考			
												H27	H28	H29	H30	H31					
合計																					

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		武雄北部土地区画整理事業、街路事業（都市計画道路甘久武雄線、都市計画道路天神崎白岩線、都市計画道路永松川良線）の舗装改良を行った結果、所要時間は短縮され、かつ通行台数は増加し、効果が見られる。			
II 定量的指標の達成状況	指標①（武雄温泉 駅から各施設への 所要時間）	中間目標値	5% (7.1分)	目標値と実績値 に差が出た要因	当初目標よりは時間が短縮されたものの、都市計画道路永松川原線の駅の南北がまだ開通していないため、目標を達成することができなかったと考える。
		中間実績値	3% (7.21分)		
	指標①（平日と休日 （各1日、12 時間）の車両通行 台数及び通行人数）	中間目標値	27,750台・人	目標値と実績値 に差が出た要因	武雄市土地区画整理事業に係る武雄甘久線の工事が完了し、工事渋滞がなくなりスムーズな通行が可能となったことで、通行者が増加したものとする。
		中間実績値	29,263台・人		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）					
3. 特記事項（今後の方針等）					
<ul style="list-style-type: none"> 平成34年の新幹線開業を見据え、引き続き着実な基盤整備を実施して、交通結節点としての利便性の向上を図る。 					

(参考図面)

